

## 市町村における市民大学等（高齢者大学等）の設置状況

体系的な学習機会の提供事業について、平成 27 年 7 月に市町村に照会を行い、回答のあった事業から、次の基準により記載

- ・ 市町村（市町村からの委託を受けた事業者）が主体となって、体系的に学習機会を提供している事業であること（各公民館等が、学習機会を独自に企画して提供している事業は除く）
- ・ 「大学（学園）」として実施している事業であること
- ・ 高齢者のみ、または全市民を対象など、複数の事業がある場合は、高齢者を対象とする事業を記載する。

### ○名古屋市

名 称	名古屋市鯉城学園（高年大学）
受講対象者	年 齢：60 歳以上（健康で学習意欲があり、卒業後も地域活動に参加する意欲のある者） 住所地：名古屋市内在住の方 定 員：1,520 人（1 学年 760 人）
開設している学部・学科	4 コース 10 専攻 【社会コース】環境・国際【生活コース】健康・生活・福祉 【創造コース】園芸・陶芸・美術【地域コース】地域・文化
開講期間	開講時期：通年（修業年限 2 年） 1 学期：4 月中旬～7 月上旬 2 学期：9 月中旬～12 月中旬 3 学期：1 月下旬～3 月上旬 講座回数：年間 58 回（共通講座 29 回、専門講座 29 回）
講義内容	講 座：「老後を賢く生きる知恵」、「少子高齢化と地域活動」、「名古屋を取り巻く街道」 他 その他：入学式・卒業式、クラブ活動、宿泊研修（1 年生）、修学旅行（2 年生） 他
開講場所	鯉城学園（専用校舎） 他

### ○一宮市

名 称	一宮市高齢者大学講座
受講対象者	年 齢：満 60 歳以上 住所地：一宮市内在住の方 定 員：150 人
開設している学部・学科	一般教養
開講期間	開講時期：9 月～12 月 講座回数：全 10 回
講義内容	講 座：「笑ってスッキリ！～笑い体操～」、「あっても困る遺言 ないと困る『ゆいごん』」、「お口の健康づくり～一生おいしく、楽しく、安全に食べていくために～」 他
開講場所	一宮市市民会館

## ○瀬戸市

名 称	学びキャンパスせと
受講対象者	年 齢：特に定めていない 住所地：特に定めていない 定 員：各講座による
開設している 学部・学科	パソコン、趣味・教養、美術、健康・軽運動、書道、語学、音楽、料理、 親子向け
開講期間	開講時期：(前期) 5月～9月、(後期) 10月～2月 講座回数：講座による
講義内容	講 座：「セカキャリア応援★PC&Word・Excel基礎」、 「家庭菜園での野菜のつくり方」、「高齢者向けゆったりヨガ」 他
開講場所	パルティせと 他

## ○春日井市

名 称	かすがい熟年大学
受講対象者	年 齢：60歳以上 住所地：春日井市在住、在勤、在学の方 定 員：500人
開設している 学部・学科	生活コース(150人)、歴史コース(150人)、文学コース(100人)、 健康科学コース(100人)
開講期間	開講時期：5月下旬～12月中旬 講座回数：全講座54回 (各コース13回の講義のほか、4コース合同で行う講座2回)
講義内容	講 座：「美しい音楽を求めて」、「幕末維新の日本」、 「肺の疾患について」 他 その他：開講式、閉講式
開講場所	文化フォーラム春日井

## ○津島市

名 称	市民大学講座
受講対象者	年 齢：特に定めていない 住所地：特に定めていない 定 員：270人
開設している 学部・学科	—
開講期間	開講時期：6、8、11、2月を中心に年4回 講座回数：全講座11回
講義内容	講 座：「戦後70年人々の生活から見る戦中と戦後」、「日本の祭」、 「暮らしのヒント」 他
開講場所	津島市立図書館、津島市生涯学習センター

## ○碧南市

名 称	おたっしや大学
受講対象者	年 齢：65 歳以上 住所地：碧南市民の方 定 員：なし
開設している 学部・学科	—
開講期間	開講時期：5 月～3 月 講座回数：全講座 14 回
講義内容	講 座：「正しく理解しよう 認知症」、「介護予防のポイント！ 運動機能って？」、「転倒予防～眼力をきたえる～」 他 その他：筋力トレーニング教室、始業式、修了式 他
開講場所	碧南市役所 他

## ○豊田市

名 称	豊田市高年大学
受講対象者	年 齢：60 歳以上 住所地：豊田市内在住の方 定 員：170 人
開設している 学部・学科	地域交流学科、生活健康学科、文化工芸学科、環境農学科
開講期間	開講時期：4 月～3 月 講座回数：全講座 45 回程度
講義内容	講 座：「素晴らしい紙芝居の世界」、「自分史」、 「陶芸・木綿・和紙に挑戦（選択講座）」 他
開講場所	とよた市民活動センター 他

## ○安城市

名 称	安城市シルバーカレッジ
受講対象者	年 齢：60 歳以上、2 年間継続して受講できる方 住所地：安城市内在住の方 定 員：45 人
開設している 学部・学科	—
開講期間	開講時期：5 月中旬～2 月初旬 講座回数：全講座 23 回 (教養 11 回、実技 6 回、健康 3 回、時事 3 回)
講義内容	講 座：「私の健康法」、「福助菊づくり」、「市民でつくる命の森づくり」 他 その他：開講式・修了式、修学旅行（2 年生、1 泊 2 日）
開講場所	安城市文化センター

## ○西尾市

名 称	西尾市オープンカレッジ
受講対象者	年 齢：特に定めていない 住所地：西尾市内在住の方を優先 定 員：20人
開設している学部・学科	文学部
開講期間	開講時期：8月～9月、10月～12月 講座回数：全講座11回
講義内容	講 座：『雨月物語』を読む』、「歌舞伎の謎」、「奥の細道」 他
開講場所	吉良町公民館 他

## ○犬山市

名 称	犬山市民総合大学 敬道館
受講対象者	年 齢：小学生以上 住所地：特に定めていない 定 員：1,200人程度
開設している学部・学科	一般教養学部 350人、文学部 350人、歴史文化学部 270人、 スポーツ学部 50人、環境学部 100人、健康学部 30人
開講期間	開講時期：6月～3月 講座回数：全講座36回 (一般教養学部5回、文学部5回、歴史文化学部11回、スポーツ学部4回、環境学部3回、健康学部4回、その他4回)
講義内容	講 座：「古墳文化と東之宮古墳」、「季節感薄れる最近の気象」他 その他：入学式、卒業式、見学会、実技講習 他
開講場所	犬山市民文化会館 他

## ○稲沢市

名 称	成人大学
受講対象者	年 齢：20歳以上 住所地：稲沢市内在住、在勤の方 定 員：100人
開設している学部・学科	教養講座・専門講座
開講期間	開講時期：5月中旬～10月上旬 講座回数：全講座10回
講義内容	講 座：「森鷗外『花子』における〈生命〉の美」、「江戸文化に学ぶ」 他
開講場所	名古屋文理大学文化フォーラム小ホール

## ○新城市

名 称	新城市高齢者大学
受講対象者	年 齢：60 歳以上 住所地：新城市内在住の方 定 員：38 人
開設している 学部・学科	一般教養学部
開講期間	開講時期：5 月～3 月中旬 講座回数：全講座 11 回
講義内容	講 座：「市政勉強会」、「市民文化講座」、「新城市議会傍聴」 他 その他：入学式・卒業式、修学旅行（1 泊 2 日）、防災・介護施設の見学
開講場所	新城市老人福祉センター 他

## ○東海市

名 称	東海市高齢者大学
受講対象者	年 齢：60 歳以上 住所地：東海市内在住の方 定 員：600 人
開設している 学部・学科	—
開講期間	開講時期：5 月から 11 月まで 講座回数：5 回
講義内容	講 座：「尾張藩と知多半島」、「認知症予防について」、 「おいしく食べ、おもいきり笑えるお口をつくる」 他 その他：屋外研修
開講場所	東海市文化センター他

## ○知多市

名 称	市民大学ちた塾
受講対象者	年 齢：18 歳以上 住所地：知多市内外を問わない 定 員：10 人～90 人
開設している 学部・学科	(1) パソコン・IT・メディア (2) 語学 (3) 音楽 (4) 舞踊・ダンス・体操 (5) 健康・ リラクゼーション・心理 (6) 美術・書道・手工芸 (7) 文化・生活・料理 (8) 文学・歴史・哲学・その他
開講期間	開講時期：(上半期) 4 月～9 月、(下半期) 10 月～3 月 講座回数：5 回又は 10 回
講義内容	講 座： (1) 「はじめよう！パソコン」 (2) 「初めての中国語」 (3) 「たのしい歌声」 (4) 「社交ダンス入門その 1」 (5) 「リラックス健康法」 (6) 「はじめよう！ 透明水彩画」 (7) 「男性ヘルシークッキング」 (8) 「哲学講話その 2」 等
開講場所	勤労文化会館 他

## ○尾張旭市

名 称	長寿学園
受講対象者	年 齢：60 歳以上 住所地：尾張旭市内在住の方 定 員：なし
開設している 学部・学科	—
開講期間	開講時期：4 月中旬～3 月中旬 講座回数：40 回
講義内容	講 座：年 12 回の講話、年 9 回の絵手紙クラブ、年 18 回の健康体操クラブ その他：一日大学（年 1 回のみ大学の体育館で健康体操教室を実施）
開講場所	尾張旭市中央公民館 他

## ○岩倉市

名 称	岩倉市シニア大学
受講対象者	年 齢：60 歳以上 住所地：特に定めていない 定 員：230 人
開設している 学部・学科	教養学部（110 人）、健康学部（60 人）、社会学部（60 人）
開講期間	開講時期：5 月中旬～3 月初旬 講座回数：全講座 29 回（教養学部 8 回、健康学部 8 回、社会学部 8 回、3 学部合同開催 5 回）
講義内容	講 座：「災害への備えと岩倉市の取り組み」、「気をつけたい！シニア世代の食生活」、「尾張名所図会 絵解き散歩」 他 その他：開講式・閉講式、交流会、社会見学（バス利用）
開講場所	岩倉市生涯学習センター 他

## ○田原市

名 称	しおさい大学
受講対象者	年 齢：60 歳以上の方を優先 住所地：市内在住の方を優先 定 員：60 人
開設している 学部・学科	—
開講期間	開講時期：（前期）4 月～9 月、（後期）10 月～3 月 講座回数：前期 6 回、後期 6 回
講義内容	講 座：「防犯講話」、「ふるさとの歴史」、「折り紙で脳トレ」 他 その他：ウォーキング、調理実習
開講場所	田原福祉センター 他

## ○清須市

名 称	寿大学講座
受講対象者	年 齢：60 歳以上 住所地：清須市在住の方 定 員：120 人
開設している学部・学科	—
開講期間	開講時期：6 月～12 月 講座回数：全講座 6 回
講義内容	講 座：「心の時代」、「身体（からだ）に関する方言」、「わらべうたであそびましょ」 他
開講場所	清須市西枇杷島福祉センター

## ○弥富市

名 称	大昭大学
受講対象者	年 齢：60 歳以上 住所地：弥富市在住の方 定 員：100 人
開設している学部・学科	—
開講期間	開講時期：6 月～3 月 講座回数：全講座 10 回
講義内容	講 座：「笑ヨガ」、「脳若トレーニング」、「市内の文化財について」 他 その他：社会見学
開講場所	弥富市総合社会教育センター 他

## ○長久手市

名 称	ながくて市民大学「いきいき！エルダー塾」
受講対象者	年 齢：60 歳以上 住所地：長久手市内在住の方 定 員：30 人
開設している学部・学科	一般教養（まちづくり・福祉・会話力・安心安全・環境等）
開講期間	開講時期：5 月～11 月 講座回数：全講座 13 回
講義内容	講 座：「長久手の福祉を知ろう・認知症サポーターになろう」、 「ファシリテーションを学ぼう」、 「香流川流域の生物多様性～地域の課題を考えてみよう～」 他 その他：入学式・卒業式、茶話会、ニュースポーツ体験 他
開講場所	長久手市公民館 他

## ○豊山町

名 称	豊寿大学
受講対象者	年 齢：60 歳以上 住所地：豊山町内在住の方 定 員：60 人
開設している 学部・学科	—
開講期間	開講時期：5 月初旬～2 月初旬 講座回数：全講座 10 回
講義内容	講 座：「あやしい投資話にご用心、オレオレ詐欺のよくある手口」、 「懐かしの昭和歌謡を歌おう」、 「フードバンク活動と食糧のゆくえ」 他
開講場所	豊山町社会教育センター

## ○大口町

名 称	さくら大学
受講対象者	年 齢：おおむね 60 歳以上 住所地：大口町内在住、在勤の方 定 員：80 人（1 回あたり）
開設している 学部・学科	—
開講期間	開講時期：年間 毎月第 1 金曜日 講座回数：全講座 12 回
講義内容	講 座：「ハンドベル」、「認知症にならない為に」、「高齢者の生きがいと体力 アップ」 他
開講場所	大口町中央公民館

## ○美浜町

名 称	みはま寿大学
受講対象者	年 齢：60 歳以上 住所地：美浜町内在住の方 定 員：なし
開設している 学部・学科	—
開講期間	開講時期：5 月～2 月 講座回数：7 回
講義内容	講 座：「脳をいきいきさせましょう」、「落語鑑賞」、「健康体操」 他 その他：社会見学、開講式・閉講式 など
開講場所	河和港観光総合センター 他



### 報告書作成に向けた検討経過

開催日	主 内 容
<b>【26年度】</b> H26.9.8  H27.2.24	第1回生涯学習審議会 ・調査審議事項の決定について （超高齢社会に対応した生涯学習の在り方について）  第2回生涯学習審議会 ・高齢化に関わる愛知県の現状について
<b>【27年度】</b> H27.5.25  H27.8.18  H27.10.29  H28.2.2  H28.2.17	第1回生涯学習審議会専門部会 ・高齢者の活動に関するアンケートについて ・高齢化に関わる本県の現状、および超高齢社会における生涯学習の意義と役割について  第2回生涯学習審議会専門部会 ・全体文案について  第1回生涯学習審議会 ・報告書（中間案）について  第3回生涯学習審議会専門部会 ・全体文案について ・提言について  第2回生涯学習審議会 ・報告書（最終案）について

## 愛知県生涯学習審議会委員名簿

(平成 28 年 3 月時点)

(氏 名)	(現 職 等)
足立 誠	愛知県私学協会常任理事
◎大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター名誉総長
恩田 やす恵	愛知県公立高等学校長会 (県立国府高等学校長)
加来 正晴	愛知県都市教育長協議会 (半田市教育委員会教育長)
河合 智仁	愛知県小中学校長会 (蒲郡市立蒲郡南部小学校長)
木本 文平	碧南市藤井達吉現代美術館長
久野 哲生	愛知県議会文教委員会委員長
後藤 澄江	日本福祉大学社会福祉学研究科長
志村 貴子	子育てネットワーク
西山 妙子	愛知県地域婦人団体連絡協議会長
服部 重昭	放送大学愛知学習センター所長
林 寛子	中日新聞取締役東海本社代表
牧野 秀泰	愛知県経営者協会総務企画部総務担当部長
○松田 武雄	名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授
武藤 晴彦	日本労働組合総連合会愛知県連合会広報・教育局長
山内 晴雄	愛知県社会教育委員連絡協議会長
吉川 佳代	特定非営利活動法人市民大学ちた塾副理事長
吉田 とき枝	愛知県家庭教育企画委員 (名古屋市立第一幼稚園長)

(◎は会長、○は副会長)  
18 名 (敬称略・五十音順)

## 愛知県生涯学習審議会専門部会委員名簿

※後藤 澄江	日本福祉大学社会福祉学研究科長
牧野 秀泰	愛知県経営者協会総務企画部総務担当部長
山内 晴雄	愛知県社会教育委員連絡協議会長
吉川 佳代	特定非営利活動法人市民大学ちた塾副理事長

(※は専門部会長)  
4 名 (敬称略・五十音順)

# 愛知県生涯学習審議会 超高齢社会に対応した生涯学習の在り方について(建議)

世界的にも例を見ない超高齢社会において、様々な活動を通じて、社会に参画していきたいと思う人が少なからず存在するなかで、そうした人々のニーズに応え、社会参画に繋げていくにはどのようにすれば良いのか、地縁・血縁にとどまらない新たなつながりやコミュニティを創り出していくにはどのようなことが必要であるのか、愛知県生涯学習審議会が審議し、その結果を取りまとめた。

## 第1章 超高齢社会の現状について

### 【1 愛知県における高齢化の状況】

#### (1) 本県全体の状況

平成24年に超高齢社会へ  
(高齢化率21.3%)

超高齢社会:21%~  
高齢社会:14%~  
高齢化社会:7%~

### (2) 地域別の高齢化の状況

- ・最も高い東三河地域の25.0%に対して、最も低い西三河地域は20.2%
- ・最も高い東栄町の49.8%に対して、最も低い長久手市は14.6%

施策の実施に当たっては、地域が置かれている状況や地域間の格差などを考慮することが必要

### 【2 愛知県における地域活動の状況】

年齢とともに地域活動への参加経験は増加するが、50~59歳でいったん減少し(63.2%)、60~64歳で最も高くなっている(72.5%)

定年を控えた世代に対する働きかけ、地域の一員としての立場に気づくような働きかけなどが必要

### 【3 高齢者の社会との関わり】

- ・就労に関する意識  
「働けるうちはいつまでも」(25.1%)
- ・社会参加活動への意識  
4人に3人が何らかの活動への参加意向

高齢者を上手に取り込んでいけるような社会の仕組みづくりが必要

## 第2章 超高齢社会における生涯学習の意義

### 【1 生涯学習の理念】

生涯学習とは、学校のみならず、家庭、社会などの様々な場や、文化・スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動など様々な機会において行われる学習

### 【2 高齢者の特長】

- 長い人生経験による「豊かな経験と知恵」
- 定年等に伴う離職等の「喪失の経験」
- 自身の存在を確認するための「他者との関わり」

### 【3 超高齢社会における生涯学習の意義と期待される役割】

- 新たな生きがい、やりがいを得て、生き生きと人生の次のステージを過ごすこと(充実感の創出)
- 様々な活動により、健康が維持され介護予防にもつながること(健康の維持)

- 世代間の相互理解のため、異なる世代間の交流を促すこと(世代間交流の促進)
- 地域の課題解決に参加することにより、地域の活性化につながること(地域への貢献)

## 第3章 超高齢社会に対応した本県における取組

### 【1 充実感の創出や健康の維持に向けた取組】

- ・「学びネットあいち」の運営
- ・「愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル」の開催
- ・「あいちシルバーカレッジ」の開催 など

### 【2 世代間交流の促進や地域への貢献に向けた取組】

- ・シニア地域デビュー支援事業の実施
- ・生涯学習ボランティアの登録等 など

生涯学習の意義と期待される役割に係る取組

## 第5章 超高齢社会に対応した生涯学習の在り方

### 【提言1】

定年を迎える前から、高齢者自身が自らを地域社会が必要としていることに気付くための学習を推進すること

### 【提言2】

地域社会に新たな一歩を踏み出すための仕掛けをつくり、高齢者と団体やグループ等を橋渡しできる人材の養成を推進すること

### 【提言3】

超高齢社会のさらなる進行を見据えて、すべての世代が超高齢社会を正しく理解するための学習を推進すること

### 【提言4】

世代を超えて、多様な価値観や考え方に共感できるよう世代間の交流を推進すること

### 【提言5】

生涯学習のプラットフォームを構築し、世代間交流や地域社会への参画が促進される循環を創り出すこと  
⇒ 別紙「連携・協働によって健康長寿と生涯学習を推進するあいちモデル」

## 第4章 県内の市町村等における先進的な取組

### 【1 世代間交流の促進に向けた取組】

- ・いきいきシルバースクールの開催(日進市)
- ・全市民的認知症サポーター養成講座の実施(みよし市)
- ・青少年女発明クラブの活動(企業) など

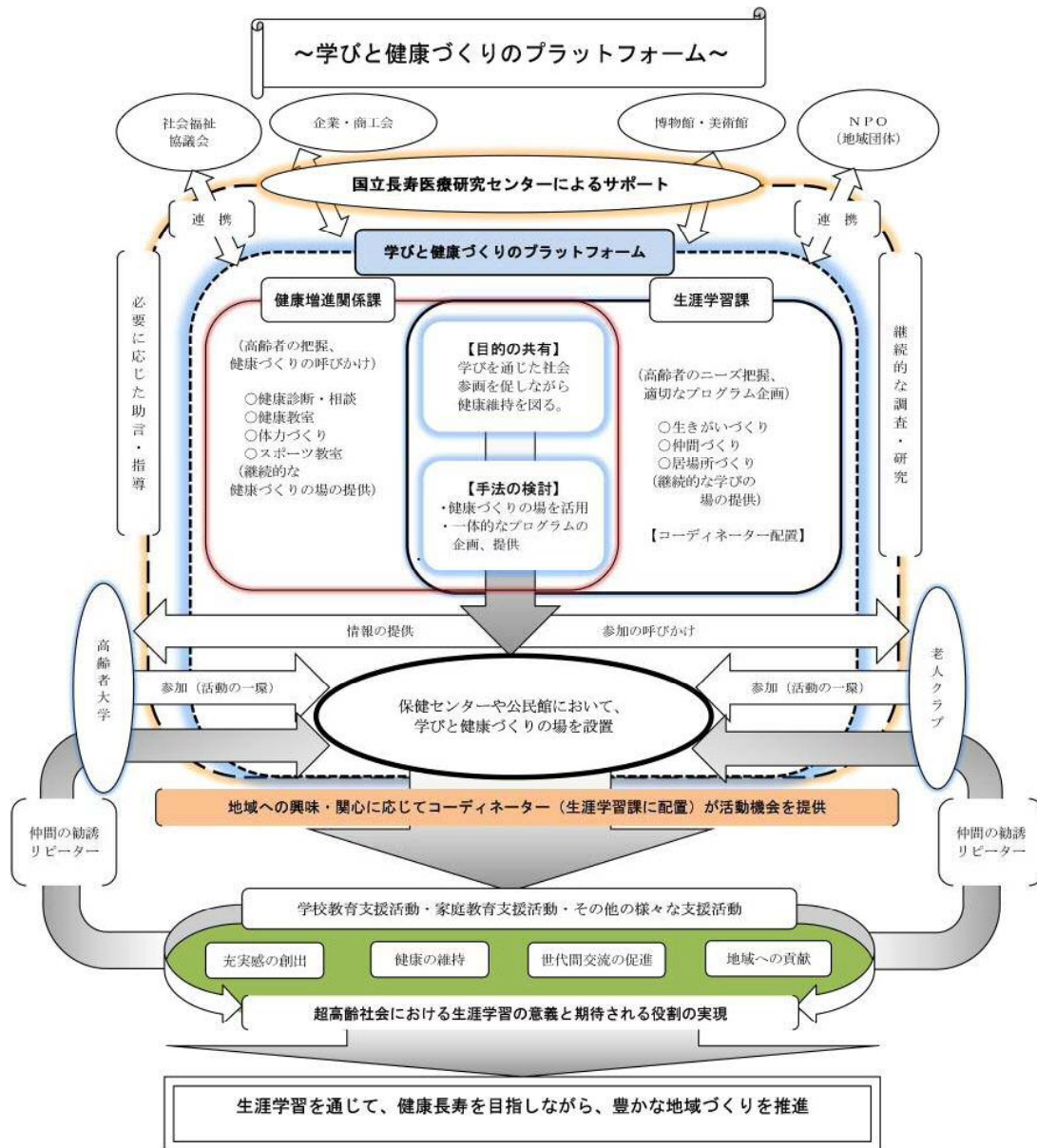
### 【2 地域への貢献に向けた取組】

- ・高齢者の生きがいづくり・生活支援活動人材育成事業の実施(山形県)
- ・思い出ふれあい事業の実施(北名古屋) など

世代間交流や地域への貢献に係る特色ある事業展開

生涯学習に活かすべき視点

○連携・協働によって健康長寿と生涯学習を推進するあいちモデル



「あいちモデル」の実現

現在、一部の市町村では、保健師（健康増進課）が依頼を受けて、生涯学習講座で健康教室を行うという個別的な連携が行われているが、このモデルはさらに踏み込んで、健康増進課と生涯学習課とが目的を共有した上で、学びと健康づくりのプラットフォームを構築し、一体的なプログラムを企画・提供していく取組である。

さらに、国内で唯一の国立長寿医療研究センターと連携し、センターが蓄積している健康づくりに関する最新の研究成果を保健師等に伝達する勉強会の開催、健康の維持に関する学習方法や学びと健康維持の相関関係などについての継続的な調査・研究等を行い、その成果を全県的にフィードバックすることにより、生涯学習を通じた健康長寿を目指しながら、その活動を通じて豊かな地域づくりを進めるものである。